

平成19年2月1日

各商店街 組合員 各位
帯広まちなか歩行者天国実行委員 各位
帯広市中心部活性化協議会会員 各位

帯広市商店街振興組合連合会
理事長 夷 石 行 夫
帯広まちなか歩行者天国実行委員会
委員長 藤 本 長 章

傍士 銑太 氏 地域活性化セミナー 開催のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、平成19年1月26日からの「帯広氷まつり」に合わせ、商店街事業として帯広市商店街振興組合連合会加盟の16商店街の組合員が一丸となって「商店街アイスキャンドル」を実施致しました。

また、商店街だけではなく、たくさんの企業の方や個人レベルでも多くの方々に協賛参加していただき、帯広の町中が「氷とロウソクの灯り」で照らされるとも素晴らしい光景が展開されました。新聞にも掲載されましたが、アイスキャンドル制作者や通りから眺めた人々、双方からとても良かったとの評価も頂き、無事終了することが出来ました。

最近、商店街宝くじセール、帯広まちなか歩行者天国などもあり、帯広市が「元気のある街」として注目されています。

来年度は中心部商店街だけではなく、帯広市内のすべての商店を対象とした「一店逸品紹介事業」の実施などを企画しています。

そこでこの度、日本政策投資銀行 地域企画部 審議役 傍士銑太 様が帯広市へ来られることになり急遽「地方都市の活性化、まちづくり」の観点から講演をお願いすることになりました。

ぜひ皆様にこのセミナーに出席していただきたくご案内を申し上げます。

謹白

記

日 時 平成19年2月14日（水）午後7時00分～
場 所 坂本ビル5階 Bホール
講 師 傍士 銑太 （ほうじ せんた）氏
日本政策投資銀行 地域企画部 審議役

※2月8日迄に返信をお願いします。

帯広市商店街振興組合連合会事務局 TEL 23-6546 FAX 23-6560

FAX 送信<23-6560>

2月14日 傍士銑太氏 地域活性化セミナーに

() 出席します ・ () 欠席します

商店街・団体名

企業名

氏名

★中心市街地とはどこか？

ドイツでは、ここが中心市街地(中心広場)として標識が立っている。
中心市街地には、「人を集める装置」が必要。

「装置」とは駅・バスセンター・LRT・大学(学校)・病院。

★ [LRT] とは？

ライト・レール・トランジット(最新の路面電車システム)

<http://eurotram.web.infoseek.co.jp/lrt/sp/02.htm>

★「歩きたくなる街とは？」を考える前に、「何のために歩くのか?」「どんな街に住みたいか?」
という意識を共有が大切。

- ・人は歩くことを楽しむために歩くことが出来なくなった。
- ・小さい道(遊び場としての道)から、大きな道(車に乗る)に変わったとき、人は歩けなくなる。
- ・街に人を引きつけるものがなくなった。「なぜそうなったのかを探る」事からスタートする。
- ・「人を引きつける場所とは?」・・・スタジアムなど
- ・集まる場所から、次の場所まで歩く。歩ける範囲は1km。

★歩行者優先の環境に優しい街

まちなか景観の統一(色、デザイン)

- ・全国展開のチェーン店も、外観を街に合わせる。

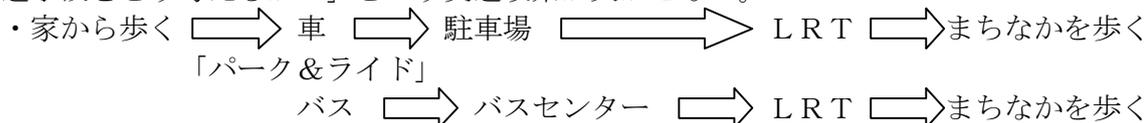
街は時間を消費する場所

- ・椅子、テーブルなどもデザインが大事
- ・季節を感じさせる木(春は若葉、夏は緑、秋は紅葉、冬は落ち葉)

街の案内所

- ・生活者のためのプレイガイド・情報ステーション
- ・観光客も利用できる。

「交通手段をどう考えるか?」という交通政策が欠かせない。



- ・500m毎に、何かの乗り場がある。
- ・交通手段の乗り換えをスムーズになるよう、連結する。
- ・街を通過するだけの車両を少なくする。
スピードを落とさせる。
迂回させる。
信号機を減らして、双方一旦停止に。
駐車場から公共交通機関(電気自動車など)への乗り継ぎ。

